

肉製品、乳製品製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故 故 の 型	労働者 規 模
2017	1	14～ 15	食肉加工室において、得意先より受注した豚ひき肉を製造作業中に、1次加工のグラインダーより排出となったひき肉を、2次加工のミートチョッパーに原料投入の担当をしていたとき、投入口に脂の付着を発見し、本来はつき棒を使用して落ち込みを行っていたが、左手で落とし込もうとして、スクリューに左手を巻き込まれ、左手半分を切断した。	63	165	7	100 ～ 299
2017	1	18～ 19	送迎業務を終え、ガソリンスタンドで給油し、会社（右方向）へ戻るのに中央分離帯をかわすため一度左折し、片側2車線の左側車線に進み、その車線からUターンしようとして右ウインカーをあげて右折したところ、右側車線を走行してきた車両が運転席側に衝突し、右肩を負傷し、右肩脱臼と靭帯断裂を負った。	57	231	17	300 ～ 499
2017	1	18～ 19	工場内で荷物を運搬中に足を滑らせ転倒し、右膝皿を骨折した。	36	416	2	10 ～ 29
2017	1	11～ 12	配達完了後、会社へ向かって走行中（30キロ程度）、当日の雨の影響もあり、雪がやわらかく、ザクザクした雪と轍にタイヤをとられ、対向車線にはみ出してしまい、相手方のトラックの右前方へ衝突してしまった。	49	221	17	—
			当社の包装室において、包装されてラインから出てきた商品入りの				

2017	1	14～ 15	袋（約15cm四方、重さ70g前後）を、厚みを揃える潰し機のベルトコンベアに載せる作業中、ベルトコンベアに乗せた袋がずれていたため置き直しをした際に、ベルトコンベアと潰し機の間で右手が巻き込まれてしまい、受傷した。	64	169	2	～ 299	100
2017	1	13～ 14	飲料充填の為の工場内において充填作業中にケーサー（集積機）のトラブルが起きたので、トラブルの対応中に機械に指を挟み、右手人差し指を切傷した。	37	165	7	～ 49	30
2017	1	10～ 11	シュリンク包装機（トレーに肉をのせた物をラップする機械）についている稼動中であつたラップを切るための刃に誤って手をぶつけてしまい切ってしまった。また、その衝撃で後ろに倒れ頭を打つた。	73	169	8	～ 29	10
2017	1	11～ 12	被災者は冷凍庫内で冷凍牛タン（1ケース約7kgのもの）19ケースをラックの2段目に手で積み上げ作業を行っていた。18ケースを積み上げようとした時に足を滑らし転倒し、腰椎圧迫骨折（横突起骨折）を負った。	67	418	2	—	
2017	1	19～ 20	製品課クリーンルーム内で、コンベアの下を潜り抜けようとしたところ、コンベアの向こうにあったテーブルの角にぶつかり、額を切り出血した。	51	224	3	～ 299	100
2017	1	16～ 17	配送用トラック（2t車）を倉庫前につけ、荷物を車内に入れようとしたところ、中に氷が散乱していた。ほうきでその氷を掃き終え、外に降りようと車のステップに足をかけたところ、滑ってしまい、アスファルトの地面に落下し、大腿骨を強打し負傷した。	67	221	1	～ 29	10
2017	1	16～ 17	生産アイテムの型替えにより、Bライン横ピロー包装機の設定作業中、コンベアの動きを確認するため起動させ（安全カバーは閉じた状態）包装エンドシールのカッター部分の奥まで手を入れてしまい、カッターに挟まれてしまった。	46	224	7	～ 299	100
		17～	原材料の冷凍庫内で、原木をのせた棚台車を、作業員2人で冷凍庫に入れ棚を方向転換させる際、棚の持ち手ではなく枠をもって移動さ					100

2017	1	18	せ、右手小指が並べてあった棚と移動させている棚の間に挟まり、右手小指の打撲挫傷、中節骨剥離骨折を負った。	55	362	7	～ 299
2017	1	17～ 18	工場において、清掃作業中に右手でデッキブラシを持ち、水切り棒に交換に行く途中で、廊下のグレーチングの上で滑り、後ろに転倒し、左手をついた時に骨折した。	64	416	2	50 ～ 99
2017	1	12～ 13	養鶏場で、鶏の積み込み作業をしていた時、鶏が入っているカゴ6段が段差に引っかかり倒れてきて、支えようとしたが足がすべり、カゴと共に転倒し、腰を強打した。	46	379	5	50 ～ 99
2017	1	17～ 18	仕事終わりにトイレ掃除を交代で行っており、トイレの床に水を撒いて床を拭いていた時に右足を滑らせ右膝を捻った。	67	418	19	10 ～ 29
2017	1	6～7	2期棟1FのPC処理場にて、原料肉の載ったカーゴ台車を引いて移動中、右手首に痛みを感じ、後日に捻挫と診断された。	33	921	19	30 ～ 49
2017	1	12～ 13	充填室内において、金属製のタンク内へ約10kgのコーヒーマルが入った金属製の乳缶を持ち上げて注ぎ入れようとした際、勢い余って、タンク側面と乳缶の底部の間に、抱えていた右手小指を挟み、右手小指第二関節やや上部が1cm裂けた。	29	611	7	50 ～ 99
2017	1	16～ 17	ペットフード製造工場にて、製品を台車の上に積み上げていたとき、足元にあった空の台車に気が付かず、足を取られて転倒し、左ひざを打つ。	65	417	2	100 ～ 299
2017	1	11～ 12	調理加工課で、作業靴の油を落とす為にお湯を使用する際、別のパート従業員にお湯をかけてもらっていたとき、手元が狂い作業靴の中にお湯が入り、右足を火傷した。	25	529	11	300 ～ 499
2017	1	8～9	加工場内第二加工室にて、ミンチ製造機械の試運転中、作業中に肉押さえのカバーが外れ、肉を切る刃とコンベアーの間に挟まった為、左手で刃を持ち上げながら右手でカバーを引きだしたところ、	66	165	8	100 ～

			誤って左手を離してしまい刃が下りてきて、左手小指を切創した。				299
2017	1	10~11	当社工場内にて、牛ハラミをフードスライサーでカットして機械出口で肉を受けていたところ、出口に肉が詰まり、掻き出そうと手を機械の出口に入れた際、中で回転していた刃に当たり負傷した。	43	165	8	100 ~ 299
2017	1	10~11	ブロイラー処理工場で、生鳥の肩と手羽を切り離す作業をしていたところ、誤って右手に持っていた作業用メスで左手の薬指を切創した。	44	364	8	100 ~ 299
2017	2	9~10	ストリング棟中2階資材庫でパレットに積載した段ボール資材を電動ハンドリーチで所定の場所に運搬作業中、段ボールパレットを運搬するために後方に進みながら電動ハンドリーチを方向転換しようしたところ、蓋供給装置本体下部側面とハンドリーチ本体後部側面の間に左足首を挟まれた。	39	229	7	100 ~ 299
2017	2	13~14	被災者は、2期棟1階充填ラインで作業に従事していた。惣菜計量機を操作する為、2段のステップに上がる際、右足が2段目左足が1段目にある状態で左足が滑り胸を打った。ステップ右側には手すりがあり、つかまっていたが体を支え切れなかった。	59	413	2	500 ~ 999
2017	2	20~21	トイレに向かい歩行していたところ、通路から製造場へとつながる緩やかな傾斜に足を取られ、足首をひねり左第5趾中足骨骨折した。	64	417	19	500 ~ 999
2017	2	14~15	当社バラ凍結場内において、トンネルフリーザーの掃除をするため、トンネルフリーザーの扉を開けた時に、凍っていた床に足を滑らせて転倒してしまった。その際に頭部の上の方を床又は壁にぶつけてしまい、コブが出来てしまった。	54	417	2	100 ~ 299
2017	2	5~6	工場にて、管理棟のトイレに向かう為、通路の階段を下りる際に右足首をひねり、右足甲に骨折を負う。	51	413	19	100 ~ 299
							100

2017	2	8~9	当社工場内で、豚枝肉のかけおろし作業（枝肉の分割作業）中、ナイフの勢いがあまって、左手首のあたりを3cmほど切ってしまった。	46	364	8	~ 299
2017	2	15~16	食肉加工工場内のスライサー（肉を自動でカットする機械）の作業中に床面で足を滑らせ、後ろ向きに転倒し、その際、右肘を強く床面に打ちつけ右肘を骨折した。	71	417	2	~ 29
2017	2	9~10	台車を使い当社冷蔵庫に製品を搬入し出る際に、バランスを崩し転倒負傷した。（足が滑った。）	43	417	2	~ 29
2017	2	12~13	昼休みに帰宅するためロッカーへ向かう途中、トイレ前通路で滑り膝から転倒した。この事故直前には、トイレ清掃・清掃業務委託先が清掃しており、通路上の水拭きがきちんと行われておらず表面に残っていた水膜状態の中で発生したものである。転倒時に直前を歩いていた者が気付き、その他数名の手をかり、しばらく安静の後、病院にて受診となったものである。	66	417	2	~ 49 30
2017	2	12~13	3F作業場内において、商品を置く為のパレットを床に敷く時、パレットが手を滑らせて右足指の上に落下し右母指と第二趾末節骨骨折右足挫傷したものである。	63	379	4	—
2017	2	17~18	廃品庫外側でカーゴ台車をたたんで運搬していた際、カーゴ台車を左足の上に倒してしまう。その後も運搬を続け、1期3F西エレベーターを出たところで再度左足の上にカーゴ台車を倒してしまい、左足を受傷した。	50	363	5	~ 499 300
2017	2	16~17	原料の鶏を搬出の為、場内設置の冷蔵庫室内へ商品を取りに入った際、誤って足を滑らせて転倒した。臀部と腰部を強打した。当日は痛みがあったが終業時間まで勤務した。その後、痛みがひかない為、病院受診し尾骨骨折の診断となった。	35	418	2	~ 49 30
2017	2	10~11	工場製造3課包装工程において、約20kg程ある底フィルムを台の上に載せようとして、両手で持ち上げたところ、左肘に強い痛みを感じ	58	529	19	~ 500

			て関節を痛めた。				999
2017	2	14~15	パレットを積み上げている作業場でパレットの上の商品（鶏肉）を下へ降ろすため、パレットの上に上がり、5kg程の商品を持ったまま、高さ2m位あるパレットの上から飛び降りた。その時、かかとかから着地し、足に痛みを感じた。	24	611	3	1~ 9
2017	2	10~11	解体室のラピッド（と体上半身バラシ機）でキャリアに、上半身と体を掛ける作業をしていた。その時ラピッドの一部にヤゲン軟骨が溜まっているのに気付いた。そのヤゲン軟骨を取り除こうとしたところ、移動中のキャリアと接触してしまい、左手人差し指を創傷した。	63	165	7	100 ~ 299
2017	2	11~12	工場内で作業中、機械に鶏肉が挟まっているのに気が付き、それを取ろうとして、機械を止めずに手を入れたところ、はめていた手袋が機械のチェーンに絡み、そのままチェーンの凸部分とローラーの間に右手第二指、第三指、第四指を挟まれたものである。	40	391	7	300 ~ 499
2017	3	18~19	退社するため2階から1階へ階段を下りているときに階段から足を踏み外し、上から4段目から踊り場まで転落して頭部を強打し、右足も捻った。	57	413	1	300 ~ 499
2017	3	2~3	被災者はチーズの入ったトレーを10段積み、台車で運搬する際に、ケースのバランスが崩れそうになったため、ケースを支えようとして右手を打ちつけてしまい、小指を負傷した。	42	611	3	100 ~ 299
2017	3	11~12	製品の移動中、豚モツが床に落ちているのに気づかず踏んでしまい、滑って転倒し、左肘を強打した。	54	416	2	30 ~ 49
2017	3	10~11	充填室の入口周辺にて、キャスター付きの台車を押して移動している際に、話しかけられ立ち止まり話をしていたところに、原料肉を載せたワゴン（ミートワゴン、キャスター付き）を移動中の社員が気づかずに後部から衝突し左腰を打撲した。	57	362	6	300 ~ 499

2017	3	0~1	食用製品加工室で生食（ローストポークステーキ）のスライス加工時にスイッチをOFFにせずに振り返り、誤って回転している刃に触れてしまい、右手親指の爪側の先端を切った。	24	169	8	~	300	499
2017	3	10~11	事業所生産ラインにおいて、踏み台に登ってコンピュータースケールの切替清掃中、清掃に集中していたため、誤って左足を踏み台の天板から踏み外し、そのまま左足を床に着いたところ、左足甲を捻り負傷した。	57	371	1	~	300	499
2017	3	15~16	センター内餃子成型機の清掃中、成型機を拭いているときにセンサーから手が離れ、回転ローラーが作動して左手を巻き込まれた。	45	165	7	~	100	299
2017	3	13~14	センター内洗浄室で番重を洗浄しているとき、バランスを崩して転倒し、左手を打ってしまった。当初痛みはあったものの様子を見ていたところ、徐々に腫れが増してきた。	51	921	2	~	100	299
2017	3	8~9	当社工場に於いて、ふるい機をハンドリフトを使用し機械を移動中に、原料肉が入った箱にふるい機が誤ってぶつかり、転倒しそうになった機械を受け止めた際に、右手人差し指・中指・薬指を負傷した。	46	362	8	~	30	49
2017	3	7~8	食鳥処理作業において、鶏の足（もみじ）を左手で持ち、右手に持っている包丁で勢いよく切断しようとしたところ、左手人差し指の第一関節爪側の皮膚に包丁の刃が当たり、皮膚の一部を剥ぎ落としてしまった。	21	364	8	~	10	29
2017	3	11~12	食肉加工工場内にて、自動肉切断塊（ベンディングスライサー）で牛肉の焼肉商品を製造中、機械の自動研磨の後、まだナイフが回転中のところに右手中指第二関節より先を当て削いでしまった。	36	165	7	~	50	99
2017	3	18~19	ウインナーの充填作業中、3号ラインで作業していたが、2号ラインの調整を行うために3号ラインの自分の持ち場から離れ、2号ライン側へ身体を向けた際、被災者は、本来2号ラインで作業する位置とは反対側から機械を調整しようとした。パッキン取付部に指を入れ調	27	165	7	~	500	~

			整しようとした際、2号ラインの作業着が起動スイッチを押してしまい、充填ノズルとパッキン取付部に左手第五指を挟まれ被災した。				999
2017	3	14~15	原料冷蔵庫入口前にてサンテナを2山同時に片づけている時に、人を避けようとしてサンテナに躓き胸を強打した。	53	611	3	50 ~ 99
2017	3	17~18	加工場内で豚ウデ肉を整形作業中に、包丁がすべり左手親指を切創した。	50	379	8	100 ~ 299
2017	3	12~13	本社で会議に出席した後、本社の向かい側にある喫茶店で会議参加者と昼食をしていた。そこで食べていた約5cmのブロック状のステーキが喉に詰まり意識を失って倒れた。同席者等が対処したが詰まりが取れず救急搬送された。	59	911	90	100 ~ 299
2017	3	13~14	歩道上にて、取引先に商品を納品する為、荷物を持って歩道を移動中、一部御影石になっているところで足が滑り、咄嗟に右手をつき右手小指を骨折した。	53	417	2	30 ~ 49
2017	3	4~5	更衣室で着がえている時に床に倒れて頭を打ったと思われるが、目撃者もなく、被災者が会話不能のため、更衣室でどのようにして倒れたか不明である。被災者と同じ作業をしていた者は全員退社しており、残業は命令していないため、なぜ会社内に残っていたかも不明である。工場内休憩室の床に座り込んでいたため、社員が大丈夫かと声をかけたところ、大丈夫と答えた。更衣室で社員と会話をしたあと、清掃業者が更衣室を消灯した時には誰もいないようだった。その後、社員に倒れているところを発見される。	75	999	99	10 ~ 29
2017	3	13~14	豚解体室から脂クズの入ったタンクを押して内蔵生冷却庫に入室し、生冷库の中間ぐらいに差しかけた際、足を滑らして後方に転倒し、頭を打った。	51	417	2	100 ~ 299
			第1工場にて、冷凍製品保管のためリーチフォークリフトに乗り製品				

2017	3	10~11	倉庫奥にある製品冷蔵庫へ向かい、冷蔵庫の電動扉を開けた。リフトごと冷蔵庫内に2メートルほど進入し、冷蔵庫の先にある製品冷凍庫の扉を開けるためリフトを降車した。冷凍庫の扉を開けたあとリフトに戻る際、天井からぶら下げている冷蔵庫の扉を開閉させる紐が体に引っ掛かり引っ張ってしまい、扉が閉まってしまった。その際、冷蔵庫から出るタイミングと重なって扉とリフトに体を挟まれ、肋骨を骨折した。	52	418	7	100 ~ 299
2017	3	16~17	コンベアから流れてくる親鶏のウイングの根本に包丁で切り込みを入れる作業中、集中力を欠いた状態で作業をしていたため、左手の人差し指第二関節と指の付け根の間、親指第一関節と指の付け根の間の皮膚を切り込んでしまった。	52	364	8	100 ~ 299
2017	4	12~13	内臓処理室において、本来は自動で投入され処理をする機械に、滞留していた内臓を押し流そうと手を入れたところ、誤って回転しているローラーに右腕を挟まれ骨折した。	38	169	7	50 ~ 99
2017	4	14~15	工場の包装室にて、味付ゼンマイ包装作業終了後、未計量分のゼンマイが惣菜包装機（ONP205）部品内部（バケット）に残っていた為、バケットを取り外そうと脚立に乗った。取り外し作業をしている際に足元が滑り、体のバランスが崩れて体をひねる様に落ち、横にある作業テーブルに右胸を強打した。	61	371	1	100 ~ 299
2017	4	10~11	被災者は包装機で包装作業を行っていた際、同僚がフィルム交換中、フィルム1本が載せてある台車が動き出したのが見えたため、台車を止めようとして台車手すりに手をかけたところ、反動でフィルムが手前に倒れて被災者の足に落下し、左第5趾中節骨骨折を負った。	65	362	4	300 ~ 499
2017	4	13~14	被災者は、お湯でボウルを洗浄しようとしていた際、水と蒸気のレバーの開閉を確認すると水（閉）、蒸気（開）になっていた。この状態でお湯が出ると勘違いしワンタッチレバーを開けたため、ホースから蒸気だけが排出され、ホースの末端が置かれていた右足首付	24	391	11	300 ~ 499

			近に噴き出し、右足首に火傷を負った。				
2017	4	9～10	調合室の架台上で、原材料をパレットから台の上に載せ替える作業において、10kgの袋を持ち上げて移動しようとした時、急激に腰に痛みを感じた。原材料を所定の場所に下ろしたあと、そのまま動けなくなった。	37	611	19	100～299
2017	4	8～9	製品課前室で始業前、作業場を片付けようとして空ゲージを引いていたところ、他の人の押していたローズゲージとの間に右手を挟まれた。	52	362	7	100～299
2017	4	17～18	廃棄物をフォークリフトで所定のゴミ置場まで運搬し、高さ145cmの運搬用コンテナに投入しようとコンテナ上部の淵（幅8cm）に登って作業していたとき、バランスを崩して地面に落下した。直後巡回中の従業員に発見され、本人の状態を確認したところ意識ははっきりしており、体が動かないと本人から話があり救急搬送された。作業時にヘルメットは着用していたが紐をしておらず、また、安全靴を履いていたが、サンダル履の状態であった。	61	611	1	50～99
2017	4	10～11	工場作業場内で羊腸の脱塩作業をしていたときに、流し台（シンク）に水を引き込むホースに足を引っ掛け転倒し、ひざから地面につき骨折した。	56	416	2	30～49
2017	4	10～11	ムネ解体機ササミ採取ライン上にてササミ採取作業中に、右手が機械内部に巻き込まれ、右手中指指先を切断した。安全措置を通り越し、機械内部へ手が入り込める構造であったことと、作業に追われ機械内部に近い位置で作業を行っていた可能性が考えられる。	56	165	7	300～499
2017	4	10～11	食肉出荷事務所から階段を下りる時にバランスを崩し前のめりになったのを立て直そうと足を付いたところ足を捻った。手すりはずかまったが傘を持った状態だったのでしっかり握れていなかった。	42	413	1	500～999
2017	5	17～18	羊肉の加工処理を終え、包丁を洗うため左手に包丁を持ち右手スポンジで洗っている時、誤って手を滑らせ右親指に裂傷を負った。親指を動かすと少し出血し、右長母指伸筋断裂と判明した。	57	391	8	10～29

2017	5	9～ 10	1階食品加工場にて、野菜（人参）をカット用機械を使用してカット作業をしていたところ、左手人差し指と親指が機械内部に入ってしまった、カット用の刃で切創した。	41	165	8	～ 29	10
2017	5	14～ 15	当社食肉の下処理室において、作業台に置いた牛肉（30kg程）のトリミング（下処理加工）を包丁を用いて行っていたところ力の加減を誤り、肉を切った反動により右目部分を負傷した。	34	364	8	～ 29	10
2017	5	17～ 18	タンの皮むき機周辺で清掃中に、歯を外して持った時に、手を滑らせて、足で支えようとしたところ、歯の向きが下になり、太ももを切った。	69	169	8	～ 29	10
2017	5	14～ 15	当社加工工場冷凍庫内において、製品整理中に床が凍っていた為、足を滑らせて転倒し、左膝を骨折した。	71	416	2	～ 49	30
2017	5	11～ 12	当日に製造室内の床清掃中、バケツとモップを持って移動するため、製造ラインのコンベヤーの下を屈んでくぐった際、右膝に違和感を覚えた。当初は特段の異常は無かったが、その後、痛みが出た。	48	224	19	～ 299	100
2017	5	11～ 12	場所は2階の工場作業場にてスライサーの清掃をしたところ、電源は切れていたが、刃の回転が完全に止まっていなくて、左示指を切断してしまった。	23	169	8	～ 99	50
2017	5	20～ 21	脚立に登ってフリーザー内の霜取りを行った後、脚立の3段目から2段目に降りる際に足を滑らせ、左足を捻ってしまった。	41	371	1	～ 299	100
2017	5	11～ 12	当社工場内において、生鳥を処理するため保管していたが、気温が高かったため、死鳥防止の為に水をかけようとラック（高さ1.75m）の上に上がり作業をしていたところ誤って落下し、左側頭部を強打した。	21	379	1	～ 49	30
		11～	屠畜場で馬の皮剥ぎ作業中に、吊り下げていた馬の後ろ足がフック					100

2017	5	12	から外れ落下し、その勢いで体ごと弾かれ、馬体と近くにあった殺菌槽との間に挟まれて左肩を脱臼した。	40	911	4	～ 299
2017	5	11～ 12	豚肉の加工場内で、両手で原料の入っているタンクを引っ張っていたところ蓋が外れて、そのはずみで積んであったプラスチック製のカゴにぶつかり、腰と脇腹を強打した。当初は少しの痛みだったが、痛みが増し、立ち上がる時に激痛が生じた。	64	611	3	30 ～ 49
2017	6	16～ 17	食肉加工室で清掃作業中に床が濡れている為、滑って転倒した。その際、左腕を床に強打し、冷凍ストッカーと床との隙間に左手が入り込み、母指を脱臼した。	55	417	2	1～ 9
2017	6	7～8	当工場において、鶏肉の味付工程にてマッサージャーを使用した際、マッサージャーの重い蓋を1人で数回、上げ下げを繰り返した。当日は痛みもなく帰宅したが、翌日になり右肩が上がらず、痛みもあることから受診した。	28	921	19	50 ～ 99
2017	6	9～ 10	当工場において、衣付け作業の交代に入ろうと歩行していた際、足を滑らせ右手を床につくように転倒した。	58	417	2	50 ～ 99
2017	6	7～8	作業前、バケツを置く台に包丁を置いた。作業後、バケツで手を洗おうと振り向いた時、包丁を置いた事を忘れ、包丁が左膝上部に当たり、切創した。	30	364	8	100 ～ 299
2017	6	11～ 12	会社食品加工場内において、南瓜カッターで肉を切断中、添えていた左手の親指を誤って切り、負傷したものである。	48	364	8	30 ～ 49
2017	6	13～ 14	油脂製造場所のクッカー（脂炊き釜）の下にある蓋を専用の棒状の器具で閉めようとした際、棒が外れ、バランスを崩し、同時に立っていた床が滑り、手をついてしまい右肘を脱臼した。	35	417	2	10 ～ 29
2017	6	16～ 17	冷蔵庫でガラの入っているカゴを持ち上げようとした際、右肩に痛みを感じた。	65	921	19	—

2017	6	15~ 16	当社処理場ホーム下にて、鶏の入ったラック（赤鳥8羽入×14マス）がいくつか倒れてしまった為、作業員4人でラックを立てようとして、80cm位まで立てかけた時、重さに負け倒れてしまい、避けようとしたが避けきれず、ラック（300kg位）の枠が左大腿部に当たり、その後、左足にも当たり負傷した。	49	611	4	50 ~ 99
2017	6	10~ 11	第一工場赤肉処理にて、包丁でタンの皮むきをしていた時、早く処理をしたい気持ちもあり、左手、手の平小指付根付近に包丁の先端が当たり、切ってしまった。	68	364	8	50 ~ 99
2017	6	11~ 12	工場内で冷凍庫から食肉原材料を出して、カゴから1本ずつ作業台の上に乗せる時に、その食肉材を右足の上に落としてしまい負傷した。	36	529	4	30 ~ 49
2017	6	15~ 16	会社敷地内のコンテナ倉庫から、ペットボトル入り段ボール（24×37×21、13.8kg）を運搬作業中、段ボールを持ったまま段差を降りようとしたところ、高さ30cmから足を踏み外して転落し、右足首を捻挫した。	37	419	1	10 ~ 29
2017	6	17~ 18	作業場内で洗浄した機械の部品を、台座にコンテナを乗せた状態で、床を滑らせて移動中にバランスを崩し、直す際に足が滑り、左膝を床に打った。	22	417	2	100 ~ 299
2017	6	17~ 18	ヨーグルト充填終了後、機械の洗浄作業をしている時、洗浄液を抜く為、2階の作業室から1階の調合室へ下りた際、階段の下にホースがあることに気づかずに踏んでしまい、右足を捻挫した。	40	379	3	50 ~ 99
2017	6	10~ 11	就業場所（派遣先）で、作業設備の片付け清掃時に（自動運転中）、ヘラが落下した際、咄嗟にヘラを取ろうと手を伸ばし、機械に巻き込まれた。	66	165	7	100 ~ 299
2017	6	7~8	本社豚肉解体工場内にて、豚バラ肉のバラ骨脱骨作業中、T棒という道具を使用し、豚のバラ骨を除去する作業をしていたところ、T棒を強く引いた際に、腰に強い痛みを感じて動けなくなった。	25	921	19	50 ~ 99

2017	6	11~ 12	作業場において、梱包した商品をカゴ車に載せ終わった後、カゴ車を冷凍庫へ搬入する際に、冷凍庫の入り口の金具の部分とカゴ車に挟まりそうになり、回避する際に指と手首が挟まり負傷した。	43	362	7	~ 29	10
2017	6	23~ 24	スライスチーズ包装工程において、ダンボールケーサーの製品集積部がトラブル多発しており、手流しで半製品を供給していたが、機械の調子が悪く、トラブルが解消できないため、ダンボールケーサーの中に入り、安全カバーを閉め、カバーの外から別の人ガスタートボタンを押して機械の動きを確認していたところ、集積部で半製品が引っ掛かったため立ち上がり、咄嗟に右手を出してしまい、集積部爪部に挟まれて怪我をした。	41	169	7	~ 999	500
2017	6	9~ 10	小バラシ室のムネラインで製品の入ったカゴを、台車に載せようとした際に手が滑って、カゴを落として左足上に落下し、左足小指に亀裂骨折を負った。	66	379	4	~ 299	100
2017	6	11~ 12	当社工場内において、午前中の食肉加工業務終了後、床（コンクリート）をホウキで清掃中、作業台（ステンレス製、高さ40cm×幅50cm×50cm）に気付かず、左大腿部を強打し転倒した。（左大腿部骨折）その際、床で左肩を打ちつけ、打撲負傷をした。	45	419	3	~ 49	30
2017	6	18~ 19	当社急速冷凍庫にて、翌日納品分の準備をしていた。庫内では、両足を開き腰を落として四股の様な体勢をとり、商品（約20kg）を入れたカゴを3段重ねにして右手で引きずり出してから、反対側を左手で掴み、抱えて運んでいた。しかし、庫内には作業スペースが少なく、抱える際には上半身を左に捻りつつ抱える必要があったが、まさに上半身を捻った際に腰に強い痛みがはしった。	39	921	19	~ 49	30
2017	6	18~ 19	弊社第一工場内の作業台で、スライサーの清掃作業中に手が滑り、右手薬指第一関節から第二関節部分と、中指第一関節から第二関節部分に、スライサーの刃が当たり切創した。	31	165	8	~ 99	50
2017	6	9~ 10	乳牛用飼料製造の原料（粗飼料）切り込み・投入作業中、作業台（地上高1.5m）から誤って足を踏み外し、床に転落する。	27	418	1	1~ 9	

2017	6	9~ 10	工場内のパレット置場から、3段に重ねてあったパレットを取り出す際、誤って40cm程の高さから左足の上に落としてしまい負傷したものである。	63	379	4	100 ~ 299
2017	6	14~ 15	台車（空の状態）を移動させる作業中、後ろ向きで台車を引いて移動させたため、後方の視界が確保できず、左手側の壁に接触し、左手が台車と壁の間に挟まり負傷してしまった。	24	362	7	50 ~ 99
2017	6	8~9	加工室内のーフメイド室にて作業の準備中、室内の側溝の蓋に乗った際に蓋が外れた。その際、蓋の上に乗っていた右足がそのまま蓋と一緒に側溝内に入ってしまう、はずみで転倒した。両手で計測器を持っていたため受け身が取れず、右後頭部を打った。頭部と足に痛みがあったため、脳神経外科と整形外科で検査を受け、頭部は右耳に軽度の裂傷、右足は打撲と捻挫と診断された。前日のメンテ作業で業者が作業を実施しており、蓋2枚の設置が逆になっていたのだが、そのことに気付いていなかった。	53	418	9	50 ~ 99
2017	6	17~ 18	鶏卵を洗卵・選別する工場内で、一日の作業が終わり、シューズを履き、機械等の掃除中、機械の天板の蓋を外すために、高さ52cmの脚立に立っている時に足を踏み外し、脚立から落下した。その際、体を支えようとした左腕の手を床面に強打し、左手首を負傷した。	60	371	1	50 ~ 99
2017	7	10~11	粉系ICIP室でマグネットフィルター点検時、マグネットフィルターの蓋を外す際、ラインより勢いよく水が噴出し、次いで熱水が噴出した。熱水から逃げるために振り向いた際に両足脛脛に熱水がかかり火傷を負った。	24	391	11	50 ~ 99
2017	7	7~8	洗濯物の集荷中、階段の2階から、集荷物を投げ下ろしていたところ、投げた際に左腰に激痛が走り、そのまま動けなくなった。すぐに救援を呼び、通院することとした。	39	231	1	1~ 9
2017	7	5~6	殺菌機3号機バランスタンクで熱水殺菌循環中に、バルブ操作間違えに気づきバルブ操作をしたところ、バランスタンクから熱水が吹き出た。右手甲、両足太ももに火傷をおった。	28	341	11	100 ~ 299

2017	7	13~14	脱毛ラインにて、清掃中不要物除去のため、ライン作業終了を待たず、ライン稼働中に、スタナー電極ガイドとシャックルの間に左手を挟まれた。	25	165	7	50 ~ 99
2017	7	14~15	工場内にて、被災者がスライサーに右手を差し入れ残存した端材を取り出しているとき、盛り付け担当の別の従業員が気が付かずに稼働させたため、右手人差し指先端を受傷した。当日は勤務を切り上げた。	35	169	8	100 ~ 299
2017	7	17~18	作業を終え、作業現場から足洗い場へ行き、長靴を洗った後に、出口扉のドアノブ（レバーハンドル）を左手で下げて、扉を開けたが、手を滑らせてしまい、閉まってきた扉に左手中指を挟まれた。	24	418	7	100 ~ 299
2017	7	14~15	工場内鴨解体作業において右手に包丁を持ち流れて来る鴨の解体処理作業中、誤って包丁が左人差指の付根にあたってしまい切傷負傷したもの。	55	364	8	10 ~ 29
2017	7	6~7	当社工場内において、豚枝肉を吊しての解体作業中、誤ってナイフが滑り左前腕部に当たり負傷したもの。	35	379	8	30 ~ 49
2017	7	13~14	豚肉のウデを解体中、肩甲骨の骨を取るときに、肩甲骨の骨を浮かせるために、長さ約40cmの棒を右手に持って肩甲骨の裏に挿し、左手で肉を向こう側へ押したとき左手首がギクツとなった。手をブラブラさせたりして、痛かったが様子をみながら作業を続けてその日は最後まで仕事をした。自宅で塗り薬を塗って翌日出勤したが、傷みが治らないので早退した。	56	921	19	50 ~ 99
2017	7	9~10	閉店前に売場冷蔵庫の温度管理表を記入しようとしたところ、隣の店舗で通路のモップ掛けをした後の床が乾いておらず足を滑らせ転倒した。	54	417	2	50 ~ 99
2017	7	14~15	当社製品の配達中、配達先でトイレを借り、向かう際にトイレ前にある段差に気がつかず、つまずき転倒。その際に全身を強打した。	52	418	2	50 ~

2017	7	10～ 11	加工場内に於いて加工した肉をつかんだ際、下にナイフがあることに気づかず右手薬指第一関節を切った。	79	379	8	10 ～ 29
2017	7	15～ 16	当社のハンバーグを製造している成型機が故障したため、前日他社より同じような成型機を借り受け、当社工場作業場でテストをしようとして投入口から肉を入れて見たが排出口に肉が詰まり、うまく落ちてこなかった為その肉を取ろうと咄嗟にスイッチを切らずに右手をドラムの中の型に入れてしまい、右手薬指と小指の先端を負傷した。	48	165	8	30 ～ 49
2017	7	16～ 17	工場の冷凍庫内で肉（10kg）入りバット（入れ物）を目線高さに重ねてあったバットの上に載せようとしたらきちんと載せきれなくて持ち上げたバットが落ちてきた。そのバットを受け止めようとしたが、そのバットでバランスを崩し転んだ。その拍子にコンクリート床に右手を付いた。	65	379	4	10 ～ 29
2017	7	10～ 11	冷蔵庫内においてクレートに入ったヨーグルトをパレットの上に積みもうとした時、左足をパレットとパレットの間に挟んでしまい反動で右肩を積んであるクレートにぶつけ負傷した。当日はたいした事はないと思い医療機関にかからなかったが、後日痛みが酷くなり整形外科に行った。	59	379	3	30 ～ 49
2017	7	9～ 10	当社派遣先工場の工程内に於いて、稼働中のベルトコンベア上で袋詰めされた商品の手加工作業中、当該コンベアのローラ部にゴム手袋ごと右手が引っ掛かって巻き込まれ、右小指を負傷（爪剥離）。すぐさま作業を中断し、当日の勤務時間中に病院を受診。本人の回転体に対する危険認識の欠如や作業時の注意不足、それに使用者側の安全衛生教育の不足等が当該災害の主原因と思料。	50	224	7	100 ～ 299
2017	7	15～ 16	冷凍等バルクアイス手取充填場で、充填後の2?カップアイスに蓋をし、コンベアに乗せる作業時に、作業台下のバケット台車に足を引っ掛けて転倒し、右足首を骨折した。	68	391	2	100 ～ 299

2017	7	9~10	当社請負先である工場の製造1課整形ラインにて、肉の骨やスジをミートナイフを用いて取る作業中、勢いが余って自分の左手人差し指の先端を1cmほど切ってしまった。（ミートナイフは、肉を処理する専門のもので、刃渡り270mm、家庭用の包丁を丈夫にしたようなものである。）	60	364	8	10 ~ 29
2017	7	17~18	派遣先事業所において、ブロックハム（円柱：500×120mm、7.0kg）56本を吊るしたステンレス製三段構造台車より、スライス工程へハムを供給し、残りを台車ごとフロアスケールにて計量後、冷蔵庫へ保管する作業をしていた。その際、台車の上・中段に片寄ってハム16本が残っていたため、手前に引き寄せた台車がバランスを崩し、左側へ避けたが重みで転倒し、左肩・背中・腰を強打し負傷した。	32	362	6	100 ~ 299
2017	7	2~3	工場内の冷凍自動倉庫内でアイスクリームの入庫作業中、普段入る必要のない場所に入り、可動式クレーンと踏台に背部・腰部・腹部を挟まれ死亡した。	37	211	7	50 ~ 99
2017	7	12~13	同社作業場にて、フルオートラインの椀コンベアーで牛肉のパッキング作業中、コンベアー下部に肉が溜まってしまったため、除去しようと左手を入れたところ、稼働中のお椀と接触し負傷した。	47	224	7	50 ~ 99
2017	7	10~11	解凍設備でトラブルが発生したため、コンベアに長靴を脱いだ状態で上り、対応を行いコンベアから降りる際、バランスを崩し転倒してしまい、作業台（FRP）の隙間に右足人差し指が挟まり負傷した。	52	224	2	—
2017	7	8~9	工場内にて、ハンドリフトを使い、原料卵を載せたパレット（1段、9山／1山当たり2kg）を移動中、隣に置いてあった原料卵のパレットに引っ掛かり、原料卵の入ったアメリカントレーが落下するのが見えたため、あわてて手で押さえようとし、急に腕を伸ばしたときに、右肩に痛みがはしった。	67	921	19	10 ~ 29
			工場内の冷凍庫の中で後片づけをしているとき、食肉加工品を棚に				

2017	7	17～ 18	片付け、出口に向かおうと歩いていたとき（長靴着用）、通路で滑って転び、左足膝を通路のコンクリートの床についたときに負傷した（左膝蓋骨骨折）。	69	417	2	1～ 9
2017	7	14～ 15	精肉惣菜加工室前の通路にて、原料入りクレートを運搬中に扉ガードに躓き、バランスが崩れて倒れて来たクレートと壁の間に挟まれ、右手を負傷した。	49	379	7	100 ～ 299
2017	7	9～ 10	会社工場で、鶏肉の手羽を切り落とす作業をしていたときに、誤って、右手に持っていた出刃包丁で、左手親指の付け根部分を刺した。	51	364	8	30 ～ 49
2017	7	13～ 14	乳酸菌部門パート従業員の被災者が、作業場（調合室）にて、他の従業員が充填機部品を煮沸機で洗浄した後の部品を取り出す作業中、後ろを通りがかった際に、煮沸機の中にあるアルカリ洗浄液が左腕にかかり火傷をした。	33	519	12	10 ～ 29
2017	7	11～ 12	当社カットセンター内の作業場にて、枝肉を小割にする作業中、レールに吊るした枝肉を真下方向に引いて作業するべきところ、誤って斜めの方向に引いてしまい、枝肉がレールから外に落下し、右手を負傷した。	58	529	4	50 ～ 99
2017	7	16～ 17	冷凍保管庫にある半製品を台車で運び出すため、庫内に入り半製品の入ったダンボールを取ろうとした際、右足が滑りバランスを崩した。その際、前のめりに四つん這いの状態で転倒し、両手・両膝を床で打った。	67	417	2	300 ～ 499
2017	7	16～ 17	ヨーグルトケーサー室で、箱詰監視とスタッカーで段積みされたケースをパレットへ積み付ける作業に従事し、原料・包材の受入作業を行っていた。包材の受入をしていたとき、息苦しさで汗も止まらなくなり、両足の痙攣も酷くなり、本人が生産管理室へ戻って来て発覚した。当時、水分補給等は適宜行っていたが、職場に空調設備はなかった。	39	715	11	50 ～ 99

2017	7	13~ 14	<p>養鶏場での仕入作業中、被災者は、鶏舎の2階外壁にある扉（高さ約3m）から、鶏を入れたかご（横約70cm、縦約50cm）をフォークリフト（鶏舎に横付け）を使用し、地上にあるトラックに積み込む作業をしていた。フォークリフトには、かごを滑りやすくするために油を塗ったパレット（横140cm、縦160cm）をのせ、その上にかごを2列に7段ずつ積み込んでいた。しかし、かごの滑りが悪かったため、パレットに右足を掛けて積み込もうとした。その際に、油で滑りやすくなっていたため、右足が滑り、そのまま地面に落ち負傷した。</p>	26	222	1	~ 29	10
2017	7	13~ 14	<p>骨付きもも肉を機械に掛ける作業中、機械の奥に骨が詰まったので、手を入れて取り除こうとした。本来機械の異常が見つかった場合には、社員を呼ぶか、機械を止めることがルールで決められていたが、生産性を重視する雰囲気の中、機械を停止することができず、さらに防刃手袋を着用している左手ではなく、右手を入れてしまったため、刃部分が手の甲に触れ、腱を断裂することとなった。</p>	62	165	7	~ 299	100
2017	7	18~ 19	<p>集合部Sラインのローラーコンベア及び中間バケット付近を清掃する作業中に、中間バケットの奥が卵黄等で汚れて届かなかったため、ローラーコンベアの上に跪いて乗り、清掃を行おうとしたとき、コンベア上で滑り、約80cm下の床に右手から落下し、右手を負傷した。</p>	60	224	1	~ 299	100
2017	7	16~ 17	<p>工場内において、バンドソーという切断機を用いて鶏の解体作業をしていたとき、誤って右手の人差し指をバンドソーの刃に当ててしまい、負傷した。</p>	69	165	8	1~ 9	
2017	7	10~ 11	<p>解体室作業場にて、4号機の前作業に入るために一段高い所へ登ろうとし、10cm程の高さの踏み台に右足をのせるときに、踏み台の端のせてしまい、足首を挫いてしまった。</p>	67	371	19	~ 299	100
2017	7	8~9	<p>三日月カッター（刃物）で開腹作業中、誤って左手親指の付け根を</p>	25	364	8	~	100

			切り損傷した。					299
2017	9	15～ 16	食品製造現場で、袋入リスモークチップ（約16kg）を手で運びエレベーターの乗せる作業でエレベーター前に来た時、閉まる合図のブザーが鳴ったため慌ててエレベーターに乗ろうとしたところ、足が滑り後ろ向きに転んだが手にスモークチップの袋を持っていたため、手をつけず腰と背中を強打した。	33	417	2	～	100 299
2017	9	8～9	朝通勤時、当社敷地内の駐車場より徒歩で社屋へ向かう途中、バランスを崩し左足に痛みを感じ負傷した。	43	417	19	～	10 29
2017	9	11～ 12	社内レクリエーション大会にて、二人三脚障害物リレーに参加し縄跳びをしている時に、バランスを崩してしまい転んだ時に、右足の足首を負傷した。	47	921	19	～	10 29
2017	9	9～ 10	学校給食室で、おかずの具材であるごぼうを、野菜裁断機で切り終え、停止ボタンを押してから、左手で刃の部分にたまった皮を除こうとして、野菜投入口に差し入れたが、刃の回転は完全には停止しておらず、左手人指し指及び中指の爪の部分を負傷した。	59	165	8	～	30 49
2017	9	11～ 12	積み降ろし作業の為、出庫口のプラットホームに冷蔵車をバックで止め、荷台のゲートをホームに接続し作業をしていた際、ゲートから落ちてしまい頭部（右耳辺り）を地面で打ち骨折負傷した。	67	221	1	～	10 29
2017	9	9～ 10	工場に出勤し、私服から作業服に着替えるため、2Fの更衣室に入室する直線の廊下で足がもつれ床に顔面から転倒し、右頬骨を骨折した。	62	921	2	～	100 299
2017	9	16～ 17	会社施設内第2工場清掃作業中、バケツコンベアの汚れを拭こうとした際、汚れている位置が高く手の届く範囲ではなかったため、その場でジャンプし、ダスターで瞬間的に汚れを拭き取ろうとしたところ、バケツコンベアのカバー部分に右手薬指と小指の間を強打し、着用していたゴム手袋も切れ、裂傷した。本来であれば踏み台	60	165	3	～	50 99

			を利用して作業することになっていたが、汚れ部分が小さかったため、踏み台を用意する時間を短縮しようという本人判断があった。				
2017	9	9～ 10	上記日時、社命により、工場内1階作業場にて肉を切る機械を操作していたところ、肉を固定するレバーのツメ（刃）から肉を外す際にツメ（刃）に接触し、右手薬指の表皮を約4センチほど切り、負傷したものである。	61	165	8	10 ～ 29
2017	9	18～ 19	事業所内の原料冷凍庫内にて、翌日の準備作業の為原料運搬中、足を滑らせて転倒し右手をつき、右手小指付け根付近を亀裂骨折する。当日は痛みを我慢しそのまま帰宅、翌日手首が腫れた為受診する。	59	416	2	30 ～ 49
2017	9	10～ 11	第一工場クリーム分離中にクリームを一時ストックするタンクがあるが、そのタンク（10kg程度）を分解する為取り外す際、手からすべり落ち右足の親指に落下し出血、骨折した。	53	165	4	100 ～ 299
2017	9	14～ 15	現場にて機械の掃除中に、機械のローラーが回らなかった為、機械の台の部分に自分の右腹部を寄せて、体重を利用し、そのローラーを回そうとしたところ、右腹部を痛めてしまった。	62	163	19	100 ～ 299
2017	9	13～ 14	当社工場内キッチンの消毒槽（約90度のお湯を溜めて、器具の殺菌消毒）において、お湯の中に器具（ tong ）を落としてしまい、とっさに拾おうとした。長ゴム手袋をはめていたため、手袋の中にお湯が入り火傷をした。	20	391	11	50 ～ 99
2017	9	11～ 12	工場内製造ラインにおいて、工場内に設置されている自動充填機（アイスクリームをカップに詰める機械）の洗浄作業中に充填ノズルのゆるみを発見した。ノズル（アイスクリームが出る筒状の物）は、クリームシャッターと言いアイスクリームを高速で開閉しアイスクリームを出したり止めたりする部分に接続されている。ノズルのゆるみを直そうとし、誤ってノズルを外してしまったのでクリームシャッターをつなぎ直そうとしたところ指先がシャッターの開閉部分に入ってしまう、指先を切断した。本来このような作業は、絶	27	165	8	10 ～ 29

			対に機械を止めてやるべき作業だが止めずに行ったことが原因である、左手中指の第一関節の約半分を切断した。				
2017	9	14～ 15	休憩後生産室に向かう途中、共用エリア（生産室入口下駄箱前）の階段を下りる際に、残り2段目付近で足がつかず転倒し、床面に手首と顔面を打ちつけた。	58	413	2	100 ～ 299
2017	9	9～ 10	午前中に作業員の派遣先である当工場内にて、タマネギのボイル作業中、大きなボイル釜の機械から、茹で上がったタマネギをザルにあげる際、作業員が右足を滑らせ、尻もちをついた拍子に、釜に残っていたお湯が手首にかかり、負傷した。	42	529	11	100 ～ 299
2017	9	9～ 10	事業所内に於いて、冷凍庫よりサンテナ搬出時、冷凍庫前のスロープで滑り後ろ向きに転倒し、腰と後頭部を強打し負傷した。	69	417	2	30 ～ 49
2017	9	19～ 20	被災者は食事を終えて食堂から出た際、扉が勢いよく閉まったため、反射的に扉を押さえようと左手を差し出し、中指の先端を挟まれた。被災時、屋外では強風が吹いており、食堂内が陽圧になっていた。	54	419	7	100 ～ 299
2017	9	11～ 12	検瓶作業の際、瓶が流れているラインに他社瓶が入っており、それを取り除こうとした時に、隣の瓶が割れてしまい、割れた瓶に手が触れてしまった。	19	529	8	100 ～ 299
2017	9	11～ 12	食品加工工場内でキャスター付給水ポンプを手で押して移動させていたところ、床面のはがれた窪みにキャスターが引っかかった、抜け出そうと手で押したり引いたりしていたところキャスターのナットに緩みがあったため、キャスターのボルトが1本架台から抜け落ち、架台が傾き右足の指の付け根付近を直撃した。この時、ポンプが重量物であったため、挫創骨折した。	39	362	6	50 ～ 99
2017	9	9～ 10	工場作業場内で作業中に歩いていた時に、左足が台車に躓き、バランスを崩して転倒し、右足太ももつけ根を打ちつけた。	58	362	2	30 ～ 49

2017	9	10～ 11	第2工場加工室において、作業台の樹脂製のまな板（大きさ約横90センチ×縦180センチ、重さ約80kg）を使い、次に作業台を使おうとまな板を一人で動かしていたとき、誤って落としてしまい、左足を負傷した。	24	379	4	10 ～ 29
2017	9	13～ 14	当社工場で作業中、使用後の籠を洗う準備をしていた（と思われる）、その際に、洗うためのお湯（60度に設定）をバルブからバケツに汲み、それを桶に移す際、誤って右長靴の中にお湯が入り負傷したものである。尚、本人は知的障害者で意思の疎通が難しい状況にあり、事故発生当時一人で作業をしていたため、作業の目的は不確かなままである。	52	379	11	10 ～ 29
2017	9	9～ 10	当社ハムソーセージ工場スライス室において、空になった台車を運搬している時に、冷蔵庫の角と台車が激突し、そのはずみで左手小指が冷蔵庫の角と台車の間にはさまれ、左小指開放性粉碎骨折となった。	39	362	7	50 ～ 99
2017	9	18～ 19	当日の業務終了後、いつもの様に車で帰宅のため敷地内駐車場の自車駐車位置まで向かう途中、ゴミ収集車が止まっていたためそれを避けて歩行中、誤って左足を挫いてしまい左足首を骨折負傷したものである。	64	921	19	50 ～ 99
2017	9	3～4	当社出荷冷蔵庫内で、商品の出荷準備をしていた時、床面の凍結箇所ですり、転倒し右手を床についた際、右手首に全体重がかかり、負傷した。再発防止対策 定期的に長靴底の摩耗を点検し、摩耗した物は交換することにした。冷蔵庫の温度を0℃から0.5℃に上げ、床面が凍結しないようにした。	49	418	2	100 ～ 299
2017	9	16～ 17	被災者は、冷凍庫内でフォークリフトによる収納作業中、床の一部がアイスバーンになっていることに気付かず、フォークリフトをバックさせた際（原料肉運搬中）ブレーキをかけたが止まれずに反射的に左足をフォークリフト外に出してしまい、原料肉（ダンボー	39	222	7	50 ～ 99

			ル) とフォークリフトの間に左足が挟まり、左足足首を粉碎骨折した。				
2017	9	15～ 16	炊き出し用の釜のスープの濃度チェックをする為に、お玉を取り3段の階段を下りる際、段を踏みはずし転んで、腰と臀部を打った。	64	413	1	30 ～ 49
2017	9	12～ 13	工場の梱包室内で、他作業者が当人の背後を通過する際に、当人と接触した、当人は前側に転び、右膝を地面に着いた、接触者の声かけ等が不十分であった。	66	911	2	50 ～ 99
2017	9	14～ 15	豚製造課5係（豚脂洗浄）に於いて、豚低温洗浄機出口部分でチェーンとローラの中に脂が挟まったので、脂を取ろうとした時に右手中指を挟まれて負傷したものである。	58	121	7	500 ～ 999
2017	9	15～ 16	フライヤーラインの粉付け機の清掃時、投入口に残った粉をスクリュコンベア下部に落とそうと、右手で投入口を叩いている時に、右手が滑り、横送り回転羽と投入口カバーの間に右手首が挟まった。	56	162	7	100 ～ 299
2017	9	13～ 14	解体室で、ガラ落下装置を調整中に、ガラ落下装置のガイドが落下しないように、手で支えていたら、鶏の首を掛けるシャックルがガイドに引っかかって流れ、シャックルが元に戻ろうとして負荷がかかりその反動でシャックルが外れて、左手人差し指付け根をシャックルとガラ落下装置のガイドで挟み込んだ。	56	165	7	100 ～ 299
2017	10	8～9	被災者は当社工場内に於いて豚ばら肉の整形中、豚肉を抑えていた左手親指第一関節に、ナイフ（刃渡り約20cm）が当たり負傷したものの。	46	379	8	10 ～ 29
2017	10	8～9	工場内で、冷凍スライサーでの作業を終えた際、機械が完全に停止する前に触れ、右手を負傷した。	34	165	7	30 ～ 49
		11～	切身室の鶏肉ぶつ切り用スライサーで作業をしていた際に、ぶつ切				100

2017	10	12	りの残渣を捨てようとスライサー誘導バーの上で動作を行い、誤って刃に接触し、右手親指の一部を欠損した。	67	165	8	～ 299
2017	10	7～8	従業員専用駐車場より会社へ向かう途中、急いで車道を渡り、歩道を渡り終えて旧工場敷地内の通路に入った直後、転倒し、左手をついてしまったため、左手人差し指ならびに中指を骨折した。	55	417	2	～ 499
2017	10	14～ 15	解体室にて、丸鶏をバンドソーにて8分割に切る作業をしている時、切った肉片を袋詰用の準備カゴに入れる時、誤って右手小指をバンドソーの刃に引っ掛けてしまい負傷した。安全対策として金網状の手袋をしていたため、幅1cm、厚さ数ミリ程度の負傷ですんだ。	71	165	8	50 ～ 99
2017	10	16～ 17	工場1階加工室内にて作業終了後の清掃作業中に、ギャラクシーとミンチラインの隙間を通った際に、清掃中で床が水で濡れ滑りやすくなっており、又、接続配線コードに足が掛かり前向きに転倒した。転倒した際、右手、右肘を床についた為、右肩を脱臼し、その弾みで額を床に打ちつけて切傷した。	67	379	2	100 ～ 299
2017	10	13～ 14	水産現場内でロータリー包装機清掃作業時、機械内に残った袋を取り除く為、黒い配線パイプを跨いだ状態で取り除き、右足を戻そうとしたところ、黒い配線パイプに右足が引っ掛かり、バランスを崩して転倒した。その際、左手首を床に着いて被災した。	59	359	2	100 ～ 299
2017	10	16～ 17	製造室で生産終了後にバケットコンベアの側面カバーを外し、内側の洗浄殺菌を行おうとしたが外れなかった為、30cm程の踏み台に乗り、取っ手を両手で引っ張ったところ、勢い良く外れ台から落ちて尻餅をついた格好になり腰を強打し負傷した。	70	371	1	50 ～ 99
2017	10	18～ 19	3課4係の加熱ゼネレータ付近で作業していた際、加熱終了のブザーが鳴った為、右回転で振り向き操作盤に向かおうとした。その際、滑って転倒し、開いていたゼネレータの扉に右肋骨付近を強打した。	48	416	2	500 ～ 999
			当工場ミンチ部作業場にて、他の作業員がハンドリフトにてパレットを作業場内に移動させていた。通常パレットを床面に下ろす時は				100

2017	10	11～ 12	声かけを行うが、今回は声かけと下ろす動作が同時であったため、原料パレットを下ろした際、近くで作業中の本人の右足薬指がパレットに挟まれた。	27	379	7	～ 299
2017	10	17～ 18	ハンドソーで肉のカット作業中、肉を押さえていた手が滑り、ハンドソーの刃に左手中指を接触させ負傷した。	20	165	8	100 ～ 299
2017	10	15～ 16	工場内で「箱流し」という回収された空箱を洗浄機に送る作業中に、2つあるベルトコンベアラインを移動する際に、足元に出ている水槽開閉レバーに足をひっかけ、レバーの近くにあるバルブで左脇を強打した。	60	391	2	50 ～ 99
2017	10	8～9	被災者が、派遣先である当社第2工場包装室において、コンベアテンションローラー部の汚れ拭き取り清掃中、クロス（タオル）でコンベアローラーの汚れを拭きとろうとして、通常はいつもコンベアを停止して清掃する指導を受けていたのだが、その日は被災者の気の緩みからか、コンベアが動いている状態で作業した。クロスが作動中のローラー部に巻き込まれて、取り除こうとしたが左手も肘の辺りまで巻き込まれ、左手首を骨折負傷した。	59	224	7	50 ～ 99
2017	10	18～ 19	工場生産加工室において、ウインナーの加熱台車をシャワー室に搬送途中で高圧洗浄機ホースを踏み、体勢を崩し、左手で台車にさわりながら転倒した。その際、左手中指を切傷した。	47	362	2	100 ～ 299
2017	11	15～ 16	被災者は工場にて、タルト生地をプレス機で成型中、生地の原料が飛び散っていたため掃除しようと思いプレス機の電源スイッチを切って手を入れたところ、機械が止まっておらず、右手を挟まれ受傷したものである。	30	165	7	100 ～ 299
2017	11	11～ 12	本社食肉加工場において、鳥モモ肉（15cm位）の塊を包丁で切断しようとしていた。本人の不注意により、包丁の刃でなく、包丁の背が接していたことに気付かずに切断しようとした。切断出来な	50	364	8	30 ～

			かったので、上向きにあった刃を背だと思い左手で押し付けた為に、左手人差し指を負傷した。					49
2017	11	13～ 14	会社工場内にて、豚枝（重さ約90kg）を二人で担ぎトラックに積み込む作業中、豚枝を担ごうとした際に豚枝（骨側）が予想以上に重く右肩に乗ってしまい痛めてしまった。	29	611		19	～ 99
2017	11	18～ 19	会社の裏にある駐車場において、終了業務にあたる車のカギを取ろうとした際、暗闇だったこともあり、誤って足を滑らせ、地面に強く手をつき負傷したものである。	61	417		2	～ 29
2017	11	11～ 12	当社肉加工室において、肉のカット作業中、作業用まな板（高さ約90cm）上で、立ち位置の右先方にある自分の担当工程が終了した肉（カット済）を左側で作業する自分の次工程担当者側に移動させようと体の向きを変えたところ、足元が滑ってバランスを崩して尻餅をつく形で後方に転倒した際に腰を強打したため、受傷したものである。	53	416		2	～ 99
2017	11	16～ 17	スライスチーズの充填機で通常生産中に、内装フィルムの黒テープつなぎ部分に充填されたチーズを取り除くため、コンベア上の7枚重ねになったチーズを横取りしようとして、コンベアとコンベアの間隙に左手中指と環指の先端部を巻き込まれ、爪が剥がれる負傷をした。	54	224		7	～ 999
2017	11	19～ 20	構内下請自社工場内において所定労働時間内通常業務中、ラックに製品を納め持場へ戻る為、扉を閉めようとして壁際に設けられたL鋼に躓き転倒する際に、前方に倒れたため両腕を体の重みで負傷した。	47	417		2	～ 299
2017	11	10～ 11	Eランプ地上部に配線用ダクト布設作業を行っていたところ、ダクト運搬用のクレーン付バックホーのキャタピラがラバーコーンを移動させようとした作業員の左足内側面と接触した。	66	921		19	～ 29
2017	11	14～	合材工場において、ダンプの荷台で合材にシートを掛ける作業が終わりダンプから降りる時、ステップから滑り落ちた際、右膝を強打	64	417		2	～

		15	負傷したものである。					299
2017	11	16～ 17	第3工場センターレス室で心金製品の外観検査を行っている時に、袋詰めされた製品1袋（重量2～3kg）を椅子に腰掛けたまま持ち上げた際、背中に激痛が走った。3日程度自宅で療養した後、病院で診察してもらった結果、「胸椎圧迫骨折」と診断された。	67	417	2	～	300 499
2017	11	17～ 18	当社工場内にて食肉用牛肉納入作業中、牛肉半頭（長さ2m、重さ220kg）を加工場へ移動させる為、トラックから牛肉を天井吊り下げホイストチェーンフックに牛肉を掛け、押したところフック上のチェーン（鎖）が切れ地面にフックごと牛肉が1m高から落下し、跳ね返った牛肉が強く首に当たりフックの根元が頭に当たり負傷したものである。	37	211	4	～	10 29
2017	11	8～9	工場内作業場から駐車場に隣接する荷出しホールへ朝礼のため向かう途中、通路が水で濡れていて滑って転んだ。転んだ際、右手をついた為右手首を骨折した。	60	417	2	～	50 99
2017	11	9～ 10	ミキサーの洗浄を終え、柵を閉めようとした、このとき左手を添えていたところが、ちょうど柵が開き過ぎないためのストッパーが付いているところで、左手親指を挟んでしまった。	40	391	7	～	10 29
2017	11	12～ 13	食肉スライサーを移動するため台車に載せて運んでいたところ、敷居を越える際に機械が横倒しとなり、左手薬指を挟んでしまい骨折した。	75	612	7	1～	9
2017	11	5～6	工場非加熱ラインにて、肉台車の一番下の段から、鶏肉と解凍水の入った番重（18kg）を持ち上げた際に、腰部に激痛が走り、その後早退し受診したところ、第4腰椎椎体骨折と診断される。	61	921	19	～	30 49
2017	11	17～ 18	所属事業所クリーンルームの前室にて、作業終了後一旦前室を出たが、忘れ物に気付いたため前室へ再度戻った時、前室の開き戸に背を向け左手を蝶番側へ置いてしまったため、扉が閉まり左第3、4指末節が挟まり病院へ受診となった。	39	419	7	～	30 49

2017	11	9~ 10	冷凍庫内で小分け作業の為、ピッキングをしている時に、床面が滑り易くなっており、後方に転倒し、腰部、頭部を打撲、左股関節を痛めた。靴も滑り易かった。	61	417	2	~ 299	100
2017	11	16~ 17	会社作業場にて、長靴を履いてテーブルを洗浄後、使用していた水道ホースを片付ける時に床が濡れており、滑り転倒し、体を支える為についた右手首を負傷した。	61	418	2	~ 29	10
2017	11	11~ 12	作業場内で、商品を袋詰め中に右腕をひねり、痛めた。	54	529	19	~ 299	100
2017	11	15~ 16	作業終了後、掃除当番のため掃除場所の洗い場に向かっている途中で、誤って滑り、左腕を強打した。	67	417	2	~ 99	50
2017	11	11~ 12	汚水処理施設において、No.1沈殿槽のふちを伝い側溝の清掃を動噴を使って行っていた際にバランスを崩し足を踏み外して、約3.2m下のセメント面へ落下し右上腕・腰部を強打した。	33	418	1	~ 499	300
2017	11	8~9	豚の枝肉保管庫で、枝押し作業中に、排水用の溝に躓き、滑ってお尻から床に転倒した。転倒後から、腰に痛みがあり、市販の痛み止めを服用し、自己治療で痛みが治まるものと思っていたが、後日に枝肉を出している時に、強い痛みが走り、痛み止めを飲んでも効かず、病院へ受診した。	35	416	2	~ 29	10
2017	12	13~14	作業室でスキナーを使い、右手と左手で豚頭を押さえ、頭の皮ムキをしていた時、誤って右手小指の外側の皮をはいだ。	65	165	8	~ 99	50
2017	12	7~8	処理場の敷地内で仕事に入る準備のためトラック運転席に置いてある仕事着を取り、トラックより2歩歩いたとき、本人の不注意から、長靴をはいていたが、雪で滑り転倒し負傷した。	43	719	2	~ 29	10
			始業前のアンスタンカー（鳥カゴをリフトアップする機械のコンベ					

2017	12	6~7	ア) を試運転中、コンベアのプラスチックチェーンが浮いて盛り上がった所を元に戻そうとしたとき、停止せず右手でチェーンをつまんだ。つまんだ時、右手中指の軍手先がチェーンに引っかかり、中指と薬指が巻き込まれて負傷した。直ぐ後ろにいた同作業者に停止してもらい、その後、救急車で病院に向かった。	50	224	7	50 ~ 99
2017	12	10~11	当社作業場構内において、鶏を積んだトラックが到着したので、懸鳥ホームに報告と確認をするため、休憩室を出て、外を移動していた時、コンクリート地面が凍っている事に気づかず、滑って転倒し、右足首を骨折した事故である。	36	417	2	30 ~ 49
2017	12	15~16	ピッキングセンターにおいて、商品の箱詰出荷作業中、別室作業の進行状況を確認しに徒歩で移動中、作業テーブルに貼り付いているクラフトテープの端が左足のズボンの裾に接着し、足がもつれて転倒した。その際、右足首を強くひねったため骨折してしまった。	63	719	2	30 ~ 49
2017	12	11~12	被災者は、工場のホーム上で、懸鳥の終わった空カゴの清掃をした後、下に降りて、消毒後のカゴをホームの上から下に降ろす作業中に、地面が凍結していた為、足を滑らせ後ろ側に転倒し、体を支える為に左手を地面について骨折した。	39	416	2	100 ~ 299
2017	12	11~12	派遣先、第一製造グループ内梱包作業場にて冷凍食品の梱包作業中、梱包中の加熱用カゴが重なった状態で何ヶ所かに点在し、場所にゆとりがなく床に氷の破片も散らばっていて滑りやすい状態だった。作業終了間近で気持ちが悪くしていた為、振り向きざまに足を滑らせ体勢を崩した所、加熱用カゴの角部分に脇腹付近をぶつけた。	49	416	3	50 ~ 99
2017	12	12~13	トラックからみかんを積んだパレットを3台降ろしていた。最後の3台目を降ろす際、リフトが上がりきっていなかったため、トラックのハッチとリフトの間に段差ができ、パレットを引き込んだときにパレットが傾いた。一時は支えたが重量に耐えられず、パレットの下敷きとなった。	42	611	5	300 ~ 499
							30

2017	12	18~19	しぐれ原材料加工ラインにて、高速スライサーを清掃中、ベルトコンベアギア部分に右手指先が巻き込まれた。	21	165	7	~ 49
2017	12	2~3	夜間積荷作業中、トラック荷台を確認しようとしてリフトからトラック荷台へ移動する際、体勢が崩れて地面に落下し、背部を強打した。	35	221	1	50 ~ 99
2017	12	16~17	手羽計量機の袋補充作業中に、袋を置く場所にビニール袋を置く際、左薬指がアーム作動中にカバーに挟まれた。	35	169	7	300 ~ 499
2017	12	18~19	両手とも、軍手およびゴム手袋を2重に着用し、加工場で丸鶏をぶつ切りにする作業を行っていた際、左手に丸鶏、右手になた包丁を持ち作業を行っていたところ、手元を誤って、なた包丁で左手親指先を切断した。	58	364	8	50 ~ 99
2017	12	10~11	食肉生産課工場内において、鶏カット作業中に、原料の鶏ムネ（1ケース12.0kg）を冷蔵庫からまな板まで両手で抱えて運搬中、床面で滑り、背面に転んだ。その際、支えるために着いた左手首を骨折した。	70	417	2	300 ~ 499
2017	12	7~8	砂肝の皮を剥く機械（ギザードピーラー）で作業を行っていた際、砂肝中央部に残った皮を右手で押さえていたとき、誤って右手第3指が直接ピーラーローラーに触れ、皮膚を欠損した。	62	165	8	100 ~ 299
2017	12	15~16	作業終了後、工場内で拭き掃除中に、右手に拭き掃除用のタオルを持ったまま移動していたところ、床が濡れていたため足を滑らせて転んだ。その際に左手をついたため、左手に全体重がかかってしまい、左手首を骨折した。	61	417	2	50 ~ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html